

## 地域づくり推進研修

# 「時間、体験を共に楽しむ日常を

～アダプテッド・スポーツの考え方を通して～

「誰もが、障がいの有無に関わらず共に学び、生きる共生社会」を目指して、障がい者の生涯学習環境の整備等が進められていますが、障がいによって学びの機会や共に学ぶ場面が限られているのが現状です。この講座ではアダプテッドの考え方を通し、お互いに理解し合い、必要な支援のもとに関わり合う楽しさを学びます。 (受講者数 26名)

### 〈研修内容〉

- 講演 演題 「アダプテッドとは」  
講師 東海大学体育学部体育学科 教授 内田 匡輔 氏
- 事例発表 演題 「障がいをもろともせず、前向きに生きる人たち  
～ブラインドランナーと伴走を通して～」  
講師 ブラインドランナー 保科 清 氏、伴走者 江原 一幸 氏
- 演習 演題 「やってみよう・考えてみようアダプテッドなスポーツ  
～ブラインドスポーツを中心として～」  
講師 東海大学体育学部体育学科 教授 内田 匡輔 氏



### 受講者アンケートから

- 理解しているようで理解していないアダプテッドの考え方を学ぶために参加しました。内田先生の講義内容はわかりやすく、今後地域の中でスポーツクラブを考えていく中で大変参考になりました。(生涯スポーツ関係者)
- 昔からの思い込みを捨てて、意識を変えていく事が何より大切と思いました。まず、そこがスタートですね。(一般)
- 自分の人生、生き方はどうだろう、何だろうと考える機会をいただきました。継続こそ力なり・・・100mを走る、犬の散歩から始まった保科さんには「まず一歩」の勇気をもらいました。ありがとうございました。(学校教職員)
- 優しい絵で絵本を読んでいるかのようなようでした。(生涯スポーツ関係者)
- お金をかけなくても、みんなが行えるスポーツを生み出せるということが、とても学びになった。(諸団体)
- 演習と言われると少し身がまえてしまいましたが、思ったよりも楽しく、視覚がない不便さよりも誰かが隣にいる安心感や普通に行うゲームよりも楽しさを感じました。(幼・保・こども園)